

製品概要

セット形式	W 数・灯数	仕様	本体形式	グローブ形式	アクセサリ形式	適合ランプ
MG2532	200～250W × 1 灯	φ 508 アクリルクリアーグローブ ルーバー付	MG2532BB 〔適合ポール挿入寸法 φ 76.3 × 110L〕	MG2532AG	MGA251L	HF200～250X MF250・L-A/BD・P NH180～220F・L
MG2533	200～250W × 1 灯	φ 508 アクリルクリアーグローブ 遮光板付		MG2532AG	MGA252L	
MG2534	200～250W × 1 灯	φ 508 アクリルクリアーグローブ 上部シルバーメタリック塗装		MG2534AG		

使用場所	使用温度範囲	防水性能
屋外の一般的な場所 振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所 海岸隣接地帯では使用しないでください。	-5～35℃ 周囲温度が 35℃ 以上の場所では 使用しないでください。	防雨形 防湿形ではありません。 湿気の多い場所には使用しないでください。

●器具の配線工事は必ず工事店様、電器店様(有資格者)などに依頼してください。

一般の人の配線工事は法律で禁止されています。

施工説明

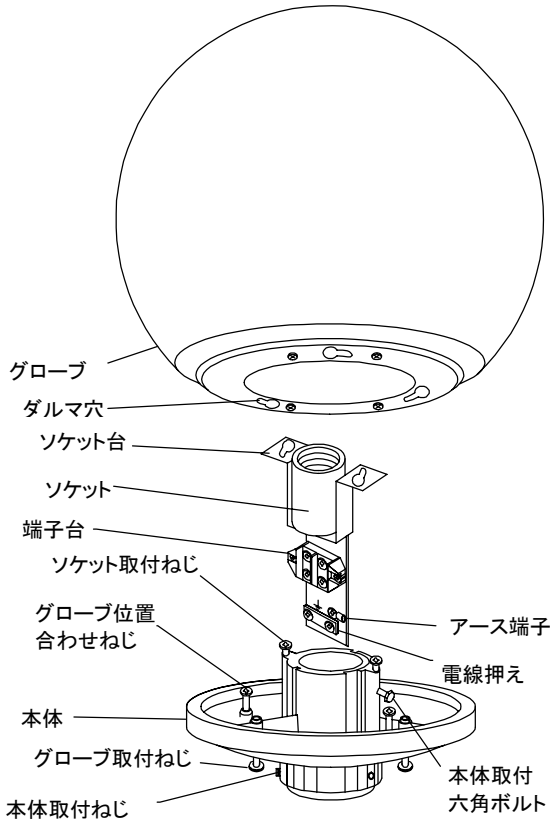
施工者様へ:この取扱説明書は、ご使用になるお客様に必ずお渡しください。

施工者様への安全上のご注意

警告

- 施工は取扱説明書の本体の取付方法に従って正しく行ってください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- 上向取付専用器具です。下向・横向には取付できません。浸水による火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 安定器別置形です。使用するランプ、電圧、周波数を確認のうえ、適正なものをご使用ください。
- 接地工事は電気設備技術基準にしたがって、D 種接地工事を確実に行ってください。接地が不完全な場合、感電の原因となります。
- 器具は点灯中高温となり、火災の危険を避けるため、可燃物が近接しない所で使用してください。

■各部の名称 (この図は一部抽象化した共通部品図です。)



①本体の取付方法

1. 本体のソケット取付ねじをゆるめソケット台を外してください。
2. 端子台に管灯回路電源線を接続し、電線押えで固定してください。
また、アース端子を使用して D 種接地工事を行ってください。(図1)
接続が不完全な場合、火災、感電の原因となるおそれがあります。
3. ソケット台を元に戻し、ソケット取付ねじで確実に固定してください。
4. ポールに本体を差し込み、本体取付ねじ(六角穴付ボルト)と本体取付六角ボルトにて確実にねじ込み固定してください。
施工に不備があると、漏電や感電また器具の落下によるケガのおそれがあります。
5. ソケットにランプを取り付けてください。
6. グローブ位置合わせねじ(3ヶ所)をグローブのダルマ穴に確実に押し込みグローブを回してください。
※グローブにルーバーまたは遮光板を取付ける場合は②の方法によりあらかじめセットしておいてください。
7. グローブ取付ねじ(3ヶ所)でグローブを確実に固定してください。
不備があると、浸水・感電また器具落下によるケガのおそれがあります。

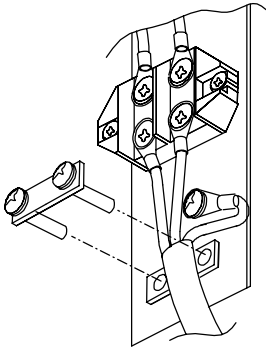


図 1

②ルーバー(遮光板)の取付方法(図 2)

1. グローブの、ねじ6ヶ所のうち、ダルマ穴から遠い3ヶ所を 4mm の高さほどゆるめます。
2. ルーバーをグローブに挿入します。
3. ルーバーの引掛金具を、ゆるめたねじに確実にはめこみます。
4. ゆるめたねじを確実に固定します。

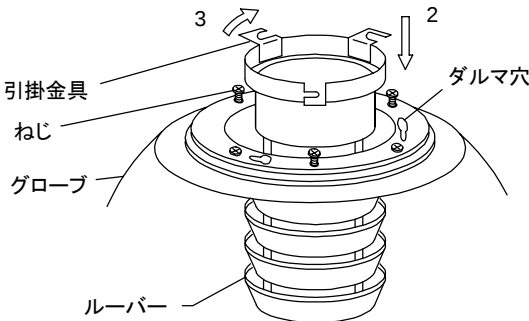


図 2

取扱説明

お客様へ:この取扱説明書は必ず保管してください。

■このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

お客様へ、安全上のご注意

警告

- 器具の改造、部品の変更は行わないでください。
火災・感電、また落下によるけがのおそれがあります。
- 万一、煙が出たり、異臭がするなど異常を感じたら、速やかに電源を切り販売店様または電気工事店様にご相談ください。
異常状態のまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。
- グローブは、衝撃が加わると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- かけやひび割れの発生しているグローブは使用しないでください。
グローブ落下のおそれがあります。

注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてからおこなってください。
感電・やけどの原因になることがあります。
- ランプ交換の際は、各部の名称と取付方法にしたがって確実におこなってください。
不備があると、火災・感電・落下の原因になることがあります。
- この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、使用環境で異なりますが、約8年～10年です。
安全に使用するために、定期的に工事店様等の専門家による点検を実施してください。
(3～5年以上経過したものは入念に点検をおこなってください。)

お手入れ・ランプ交換（必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。）

- 器具の清掃について……………汚れを落とす場合は、石けん水を浸したやわらかい布をよく絞ってふきとり乾いた布で仕上げてください。
シンナー・ベンジンなどでふかないでください。変色・変質の原因になることがあります。
- ランプ交換について……………ランプ交換は器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認の上おこなってください。
(本体銘板及び取扱説明書の適合ランプ欄に記載のランプをご使用ください。)

お客様へ

ランプ交換など保守のために、下記施工記録表をご確認のうえ、適切な保守用品をお求めください。なお、安全のため保守作業は、できるだけ工事店様にご依頼ください。

●保守のための記録
工事完了後、今後の施設の安全維持のため「施工記録表」に記録のうえ、お客様にお渡しください。

施工記録表

工事名			
工事店名		使用ランプ	
電話番号		使用安定器	
取付年月		使用電圧	
取付台数		ブレーカーNo.	
器具形式			

●商品についてのお問い合わせ

お問い合わせの際は、器具銘板または施工記録表で器具形式をご確認のうえ、施工者もしくは最寄の当社営業所までご連絡ください。